

日本でも家庭から出る一般廃棄物としてのPETボトルを回収・収集し、PETボトルのリサイクル技術を開発し、リサイクル事業に取り組みようとの意向からウイズベットボトルリサイクル株式会社、略してWPR社が平成五年一月に栃木県河内郡南河内町に設立されました。



PETボトルのリサイクル技術に関して長年の調査と実績を有するPETボトル協議会の正会員一九社の「PETボトルリサイクル事業組合」と、廃棄物の収集と処理に豊富な経験を有する株式会社ウイズウェイストジャパンとの合併事業です。

平成五年九月から日本で始めて本格的なPETボトルの再生処理事業が開始されました。再生処理工場の設備能力は年間処理能力として約八〇〇〇トンです。平成七年二月現在、PETボトルの収集を実施している自治体数が、全国で二七、対象人口は約一〇〇〇万人と広がりましたが、実際に回収されているPETボトルの量は二五六〇トンとまだ少ないのが現状です。今後、この工場がフル稼働するよう皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げます。

ご挨拶



峰村 清治会長

PETボトルリサイクル推進協議会は平成五年六月に発足しました。PETボトルに関する六団体では二年あまり、PETボトルのリサイクル事業を普及推進するために、消費者も含めた幅広い広報活動および事業の支援を進めて参りました。これまで広報活動の充実・整備を図り、一般的なビデオをはじめとする広報用ツールを取り揃えて、皆様方にご利用頂いて

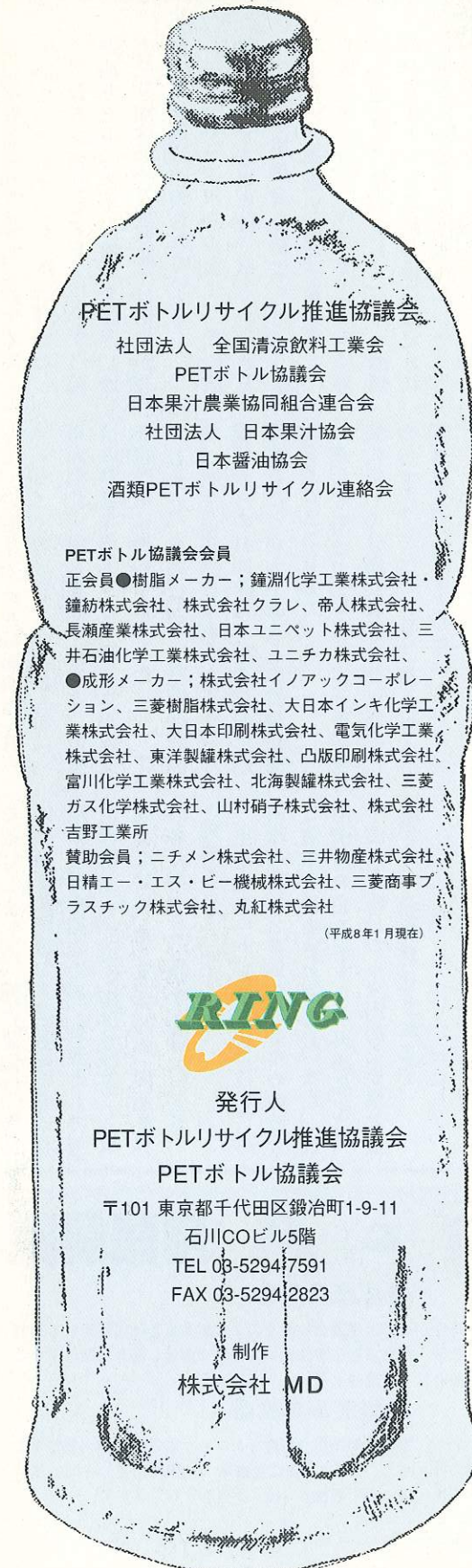
おります。さらに使用済みのPETボトルを自治体で分別回収していただく技術的支援策として減容機の開発にも努力してきてきました。このほど、容器包装リサイクル法の制定およびそれに伴う政令省令の整備が進み、さらに全国的にPETボトルのリサイクルを推進することになりました。そこで、積極的な広報活動の一環として、『RING』誌を創刊することといたしました。広く皆様にご理解いただけるようとの編集方針で取り組んでいますが、私どもの意向が十分伝えない面があるうかと存じます。今後とも皆様からのご支援を賜わりながら、本紙が関係業界と皆様方との情報のかけはしとなるよう念願致しております。

編集後記

昨年の春に、PETボトル関係六団体で広報誌発行を考えようということ準備をはじめました。丁度、容器包装リサイクル法の制定により、大きく流れが変わることとなり、編集方針やタイトル内容について議論を重ねて来ましたが、回収・再生・再利用の環を完成させるためのツールということ、誌名を『RING』としました。これはリサイクルが始まっている！を意味する、『RING』からイメージされたタイトルです。どうか皆様の御愛読をお願い申し上げます。 (広報委員一同)

本紙は再生紙を使用しております。

PETボトル関連6団体が結集！



創刊号

1996年

発行：PETボトルリサイクル推進協議会
 PETボトル協議会

〒101 東京都千代田区鍛冶町1-9-11
 石川COビル5階
 TEL 03-5294-7591
 FAX 03-5294-2823

RING

PET BOTTLE RECYCLING

優れた資源、PETボトル

今こそ、資源再利用の知恵を出すとき！

私たちの毎日の生活にすっかり溶け込んでいるPETボトル。炭酸飲料、ジュース、コーヒー、紅茶、スポーツ飲料、ミネラルウォーター、日本酒、焼酎、しょうゆ、みりん、その他数え上げると切りがありませんが、その使用済みのPETボトルがリサイクルできることを存じですか？PETボトルはきれいで、丈夫で、軽く、衛生的ですが、さらにリサイクルできるといふ特徴をもっているのです。PETボトルは酸素・炭素・水素の三元素からできているので、固形燃料として燃やしても安全で、炉を傷めたり、環境を害する恐れもありません。しかし、このサーマルリサイクルだけでなく、

はじめましてPETくんです！ボクたちの特技をお見せします。



PET樹脂原料に再生されています。そして再生原料は大切な資源として、繊維織物、不織布、自動車部品、土木建築資材、家庭用品、容器包装材料、文具などに再び加工されて製品化されています。みなさまのまわりにも、再利用された製品が続々と登場しています。私たちの地球を守り、資源の有効利用を通じて、生活を豊かにできるPETボトル。その事実を具体的に知っていただくためにこの広報誌をつくりました。再利用のために消費者のみなさまのご協力をお願いします。

PETボトルはマテリアルリサイクルによる再利用ができるのです。使用済みPETボトルは、りっぱな資源としての価値があるのです。PETボトルを発明したのは米国人ですが、米国では一年間に二五万トンもの再生PET樹脂が生産され、そして再利用されています。日本でも使用済みPETボトルの収集・再生・再利用が始まっています。関東地方を中心とする一七の地方自治体は分別収集をはじめています。収集されたPETボトルは減容化されて栃木県河内郡にあるモデル再生工場に運ばれて、清潔で、きれいな

CONTENTS 1月31日 NO.1 1996

優れた資源、PETボトル — 今こそ、資源再利用の知恵を出すとき！ — 1

各地で収集！・・・PETボトル収集自治体マップ — 2-3

再用品写真アルバム・推奨マーク紹介 — 4-5

▶使用済みPETボトルのリサイクル・フローシート — 6

容器包装リサイクル法制定される！／PETボトルリサイクル計画 — 7

加盟団体一覧・推進協会長あいさつ・WPR紹介・編集後記 — 8

分別収集

にご協力ください

リサイクルできるPETボトルの種類です

飲料用	炭酸飲料、果汁飲料、ウーロン茶、紅茶、コーヒー、スポーツドリンク、ミネラルウォーター、日本茶、麦茶などの容器
酒類用	日本酒、焼酎、ウイスキー、本みりんなどの容器
しょうゆ用	しょうゆの容器



PET
材質表示マーク

リサイクルできるペットボトルには、ラベル部分やボトルの底にこのマークがつけられています。

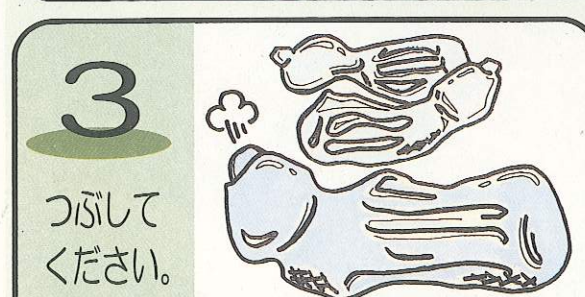
1
キャップをはずしてください。



2
中をゆすいでください。



3
つぶしてください。




注意 絶対に出さないでください。



異物が入っている
有害な液体に再利用している

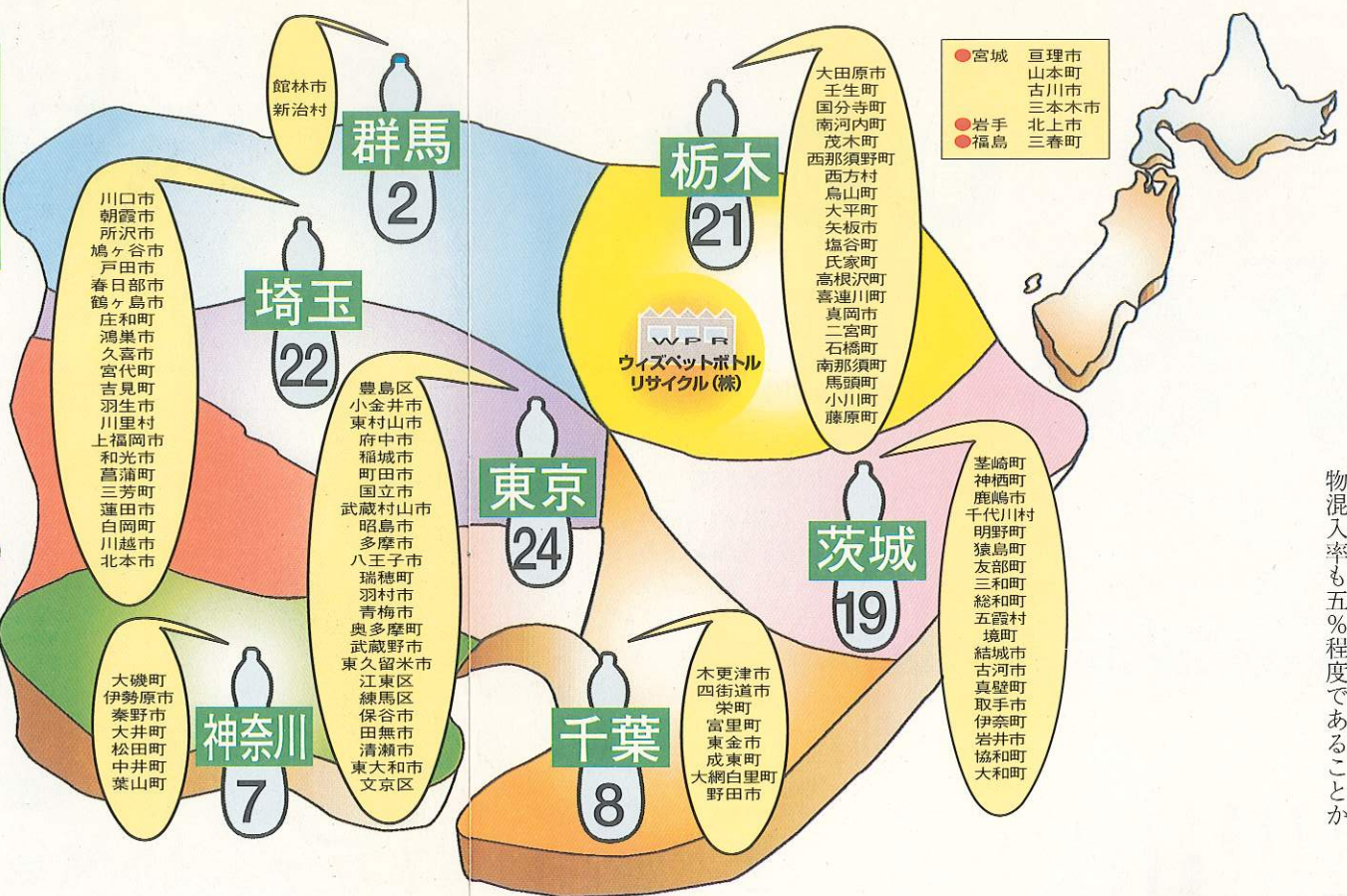
4
地域のPET収集日に出してください。



PETボトル収集自治体



- 石川 小松市 春日井市 碧南市 豊原市 四條畷市 門真市 高知市
- 愛知
- 大阪
- 高知



- 群馬 2**
- 栃木 21**
- 埼玉 22**
- 東京 24**
- 茨城 19**
- 千葉 8**
- 神奈川 7**

WPR ウィズペットボトルリサイクル(株)

各地で収集!

CONSUMER & COMMUNITY

埼玉県春日部市では...

ペットボトルは、食品衛生上安全であり、軽くて割れないなど優れた特性から、その使用量は急激に増加している。

当市では、平成六年七月から急増するペットボトルを含めた資源分別収集を開始し、九カ月間で一三九トンのペットボトルを回収したところである。この量は九ヶ月間に市内で消費されたペットボトルの八六%にあたる。また、排出された資源は洗浄されキャップも取り外されており、資源物中の異物混入率も五%程度であることが

ら、住民の分別回収への協力率の高さをうかがい知ることが出来る。このように住民の協力を得られた理由として、資源分別収集の実施にあたって、延べ二三〇回の住民説明会や定期的なごみ情報誌の発行など、住民への資源分別収集の周知徹底が功を奏したと考えている。

当市の資源分別収集の特徴の一つに、コンテナ収集がある。市民のごみに対する意識改革、分別の徹底、異物混入防止などの観点から、びん・かん・ペットボトルはコンテナで収集を行っている。コ

東京都東村山市では...

東村山市は、東京都の西北部に位置し、首都圏の水瓶である多摩湖・緑豊かな丘陵にペットタウンとしての住宅が建ち並び、人口一三万五〇〇〇人の街です。

街の特色として、病院・老人ホーム・障害者施設・都営住宅・公団などの公的施設が多く、福祉の街」としての色彩が強く、清掃行政にも、こうした特色が強く反映しているといえます。

昭和六一年には、ごみ減量とリサイクルの促進を行うため、ごみゼロの街づくりを目

標に、「アメニティタウン計画」を制定し「ごみと福祉の街づくり」をスローガンに、ごみを通して障害者や老人の働く場を提供し、市民・行政が一体となってごみの減量に取り組んで参りました。

しかしながら、家庭から排出されるごみ、特に、使い捨て時代の象徴ともいえるプラスチック容器などのごみ量はすさまじく、老朽化している処理施設や最終処分場の延命などに多大な影響を及ぼす程になってきております。

これらの課題を解決すべく、「廃棄物の減量および再利用の促進に関する条例」を施行し、平成六年四

月には、さらなるごみ減量とリサイクルを行うため、従来のびん・缶に加えて、古紙・古着・ペットボトルの分別回収を実施いたしました。

中でも、ペットボトルの回収には、増え続ける廃プラスチックの資源化を行い、老朽化した施設への負荷を減らし、最終処分場の延命を計るため低コストの新たな施設を建設することや、出来るだけ多くのペットボトルを回収するため、市民が排出しやすい方法であることなどを考慮して、袋収集による回収を実施いたしました。

実施して二年が経過いたしました。実績として二年間約一〇〇トン(予測量の八割相当)の資源化につながっております。

これらは、まず第一に市民の協力なくしては出来ないことですが、一

方では、ペットボトルがリサイクルに適していたことも大きな要因といえます。

例えば、処理面では軽量のため運搬など扱いやすく、びん・缶のように騒音対策を購置する必要がなく、また、ケガなどの危険が少なく、安全対策にも問題がない点。

コスト面では、施設の設定投資として(減容機・破袋機など設備費)三五〇〇万円、維持費として(回収委託料四〇〇万円、電気料など五〇万円、メンテナンス料五〇万円、人件費二二〇万円)計一七〇〇万円の運営費となるが、ほかの資源化施設と比べて、超低コストの資源化施設となっている点が上げられ、ペットボトルの資源化に取り組ん

だ要因と言えます。

終わりに、今後ペットボトルリサイクルの課題として、除袋機を開発設置し、手作業の軽減を行なうとともに、高品質の資源をめざしキャップやラベルの除去を行なえる選別ラインを完成させること。

また、これらの資源確保や啓発活動にも積極的に取り組む、市民・事業者・PET協などの関連を密にし、リサイクル活動を推進して行なうことが使命であり、ごみ減量と再利用の促進に寄与するものと考え、行動は足もとからをモットーに一步一歩着実に推進して参ります。

(東村山市環境部資源課 北田勝夫課長)



し、リサイクル型社会を目指した施設を展開している。
(春日部市環境経済部環境整備課 江川肇課長)



PETボトルの再生品

PETボトル再生品販売会社名

このページで紹介した商品は
みなさんの身近でも販売しています。

- 換気扇フィルター(日本生活協同組合連合会ほか) ●台所用水切り袋(金星製紙株・ちふれ化粧品株ほか) ●台所洗剤容器(ライオン株・花王株・ダイエー株ほか) ●飲料類贈答箱の中仕切り(キリンビール株・サントリー株・アサヒビール株) ●みりんなど贈答箱の中仕切り(宝酒造株) ●ドリンク瓶の中仕切り(大正製薬株) ●Yシャツ(帝人株・山喜株ほか) ●ワークキング・ウェア(西武百貨店・東洋紡績株ほか) ●セーター(パタゴニア日本支社ほか) ●Tシャツ(西武百貨店・帝人株・東洋紡績株ほか) ●ポロシャツ(西武百貨店・帝人株・東洋紡績株ほか) ●トレーナー(西武百貨店ほか) ●カジュアルパンツ(東洋紡績株ほか) ●カーペット(根来産業株ほか) ●乗用車用カーペット(小山化学株ほか) ●エプロン(帝人株ほか) ●ペンケース裏地(サンスター文具株) ●事務用ファイル・クリアーファイル下敷き(キステム株) ●アウトドアシューズ生地(リボックジャパン社ほか)



世の中にはこのリサイクルPET樹脂を使用して様々な商品が開発され、販売されています。しかしその商品が一目見ただけでは、それがリサイクル商品かそうでない商品か見分ける事は出来ません。リサイクルPET樹脂はそれ程見事に生まれ変わっているのです。そこで消費者の方々にリサイクル樹脂を使って作られた商品であることを理解して頂くために、この「PETボトルリサイクル推奨マーク」を制定しました。このマークがリサイクル社会に寄与したいと願う消費者の方々への商品選択の一助になればと考えています。

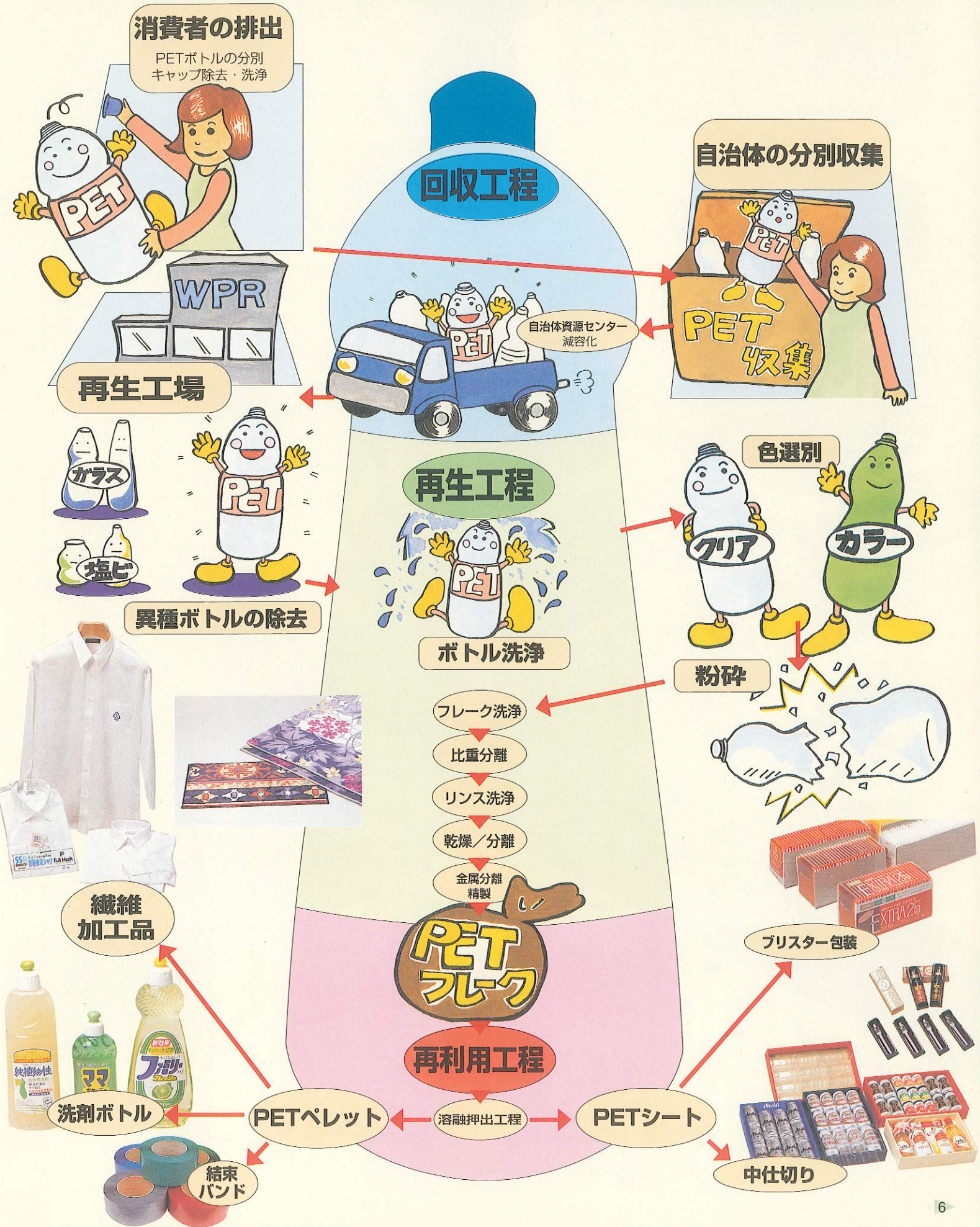
このマークが目印です!



これは一体
何のマークなのでしょう?

まだまだあまり馴染みのないものと思いますが、使用済みのPETボトルからリサイクルされた商品に付けられる「PETボトルリサイクル推奨マーク」です。中央にはPETボトルを配し、周囲の羽の様なデザインはリサイクルをイメージしています。我々PETボトル協議会では、中身の清涼飲料や酒類、しよゆが消費されたあとのPETボトルを回収して、もう一度PET樹脂に戻してリサイクル可能な樹脂を作っています。

使用済みPETボトルのリサイクル・フローシート



容器包装リサイクル法 制定される!

平成7年6月16日公布

家庭から排出される一般廃棄物の量が増加しており、最終処分場のひっ迫など廃棄物処分の問題が年々深刻化すると共に、欧米のよ

うに消費者のリサイクルに対する関心も高まって来ましたが、飲料容器として消費者に便利なPETボトルも、関東地方を中心とする地域を除き、地方公共団体の「分別収集」は準備が遅れており地域に限られています。一方、PETボトルおよびその原料を供給する業界は、早くからPETボトル協議会を結成して「リサイクル」の調査を続けて来ましたが、平成五年には、「再資源化法」に基づく政令で、飲料・しょうゆ・酒類のPETボトルが第二種に指定され材質表示が義務付けられました。そ

して、PETボトル協議会は、(株)ウイズウェイストジャパンと合併して、再商品化工場を建設するなど、消費済みPETボトルのリサイクル促進を自主的に進めて来ましたが、しかし、分別回収・再商品化工場・再生品市場いづれもが不十分な現状からの打開策は、国の施設に期待することが大であるとの認識が関連業界にありました。そして国は、昨年六月に「容器包装に係わる分別回収および再商品化の促進などに関する法律(以下、「容器包装リサイクル法」という)」

を制定しました。国の意図は、廃棄物の適正な処理および資源の有効利用の確保を図るため、資源として再生利用をする道を法律で定めて、消費者を始め、地方公共団体、関連業界の各々の責任分担を明確にしたものと理解されています。平成七年二月一四日には、この法律の施行を具体化するための政令と省令が公布されました。また、使用済みPETボトルの再商品化は、平成九年四月から全国的な規模で推進することが義務化されます。

着々と進む! PETボトル リサイクル計画

関西地方にも新工場建設へ

PETボトルの関連六団体(PETボトル協議会、社団法人全国清涼飲料工業会、日本果汁農業協同組合連合会、社団法人日本果汁協会、日本醤油協会、酒類PETボトルリサイクル連絡会)は、PETボトルリサイクルシステム構築検討委員会(以下、「本委員会」という)を結成し、平成九年からの「容器包装リサイクル法」施行に向けて、一致協力して、具体的に取り組むことを決定いたしました(平成七年一二月一九日新聞発表)。

足がないように再商品化工場を順次に建設していくこと、一〇年後には、全排出量の三〇%以上が分別収集されるものと見込み、これを再商品化することを基本方針としています。この方針は、本委員会の独自の調査により予測した分別収集量に基づくものです。すでに、関東地方の分別収集品を対象として稼働中の「ウイズペットボトルリサイクル(株)」(略称WPR)の工場に加えて、平成九年度には収集量が増大する関西地方を対象とする再商品化工場を新規に建設する計画を進めています。この工場は、滋賀県にある資源回収並びに廃棄物処理業の株RDエンジニアリングが主体となって三重県

伊賀町に建設され、平成九年四月から稼働の予定です。社名は「よのべつボトルリサイクル(株) (略称YPR)」と称し、本委員会も一部を出資すると共に、PETボトル協議会が蓄積した技術を提供して、その工場建設、生産技術、品質管理、再利用技術などを支援する予定です。これにより、二年後には東西に年間八〇〇〇トンの処理能力の「再商品化工場」が配置され、使用済みPETボトルのリサイクルに弾みがつくものと予測されます。さらに、本委員会は、全国的に工場を整備する計画を策定しましたがそれが円滑に実施されて行くためには次のような課題をクリアする必要があります。

すなわち、容器包装リサイクル法の施行により、再商品化工場の赤字は特定事業者などが負担することに定められています。再商品化のためのコストをできるだけ削減すると共に、その漸減化を

PETボトル Q & A 用語解説

- PETボトル●
ポリエチレンテレフタレート製の容器であり、「再生資源の利用の促進に関する法律」で規定される第二種指定製品の飲料、酒類、しょうゆが充てんされたものを意味する。
- 分別収集(率)●
廃棄物を分別して収集し、必要に応じて圧縮などの行為を行うことを意味する。なお、～率は、PETボトル分別収集量のPETボトル排出量に対する比を表す。
- 再商品化●
分別基準適合物をそのまま製品または原材料として利用する者に有償または無償で譲渡し得る状態を意味する。
- 特定事業者●
容器類の利用や製造などを行う事業者(輸入業者を含む)、および商品に包装類(包装紙など)を用いて販売を行う事業者(輸入業者を含む)をさす。

(1) 国へのお願い
PETボトルのリサイクルの円滑な推進のために、消費者と地方団体に対して分別収集に関する適正なご指導を賜りたく、また再利用の促進のために有効な施策(免税など)も期待いたします。また、分別収集量と再商品化能力とが遊離しないように調整をお願いいたします。

(2) 地方公共団体へのおお願い
再商品化工場のコストと品質に重大な影響を与えますので、省令指定の基準に適合する良質のPETボトルのみ分別収集し、減容化して、工場までの距離が適度の場所に集めて頂きたい。

(3) 消費者へのおお願い
リサイクルの意義を理解して、是非とも市町村の行う分別収集に積極的に参加して頂きたい。また、使用済みPETボトルの排出の際は、①キャップを外して、②水で洗うなどしてきれいにしてお出しください。また、他の用途に再使用したもの、特に有害な薬品などが入っていたものは、絶対に一緒に出さないで下さい。